様式第9号

先進医療を実施可能とする保険医療機関の要件として考えられるもの

先進医療名及び適応症:自家末梢血 CD34 陽性細胞移植による下肢血管再生療法	
維持透析治療中の疼痛・潰瘍を伴う重症虚血を呈する下肢閉塞性動脈硬化症	
I. 実施責任医師の要件	
診療科	要 (腎臓内科或いは透析内科)・不要
資格	要()・不要
当該診療科の経験年数	要(5)年以上・不要
当該技術の経験年数	要()年以上・不要
当該技術の経験症例数 注 1)	実施者 [術者] として () 例以上・不要 [それに加え、助手又は術者として () 例以上・不要]
その他 (上記以外の要件)	透析医療の診療経験が3年以上あること
Ⅱ. 医療機関の要件	
診療科	要 (腎臓内科、血液透析を標榜する診療科)・不要
実施診療科の医師数 注 2)	要・不要 具体的内容:透析医療に3年以上の経験のある医師2名以上、 再生医療認定医(日本再生医療学会)1名以上
他診療科の医師数 注 2)	要・不要 具体的内容:麻酔科医(常勤)1名以上
その他医療従事者の配置 (薬剤師、臨床工学技士等)	要()・不要
病床数	要 (20 床以上)・不要
看護配置	要(10 対1看護以上)・不要
当直体制	要 (内科 1 名)・不要
緊急手術の実施体制	要・不要
院内検査(24 時間実施体制)	要・不要
他の医療機関との連携体制	要・不要
(患者容態急変時等)	連携の具体的内容:
医療機器の保守管理体制	要・不要
倫理審査委員会による審査体制	審査開催の条件:特定認定再生医療等委員会(外部対応可能) での審査体制が必要。要時開催等。
医療安全管理委員会の設置	要・不要
医療機関としての当該技術の実施症例数	要(症例以上)・不要
その他(上記以外の要件、例;遺伝カウン セリングの実施体制が必要 等)	
Ⅲ. その他の要件	
頻回の実績報告	要(月間又は症例までは、毎月報告)・不要
その他 (上記以外の要件)	

- 注 1) 当該技術の経験症例数について、実施者[術者]としての経験症例を求める場合には、「実施者[術者]として () 例以上・不要」の欄を記載すること。
- 注 2) 医師の資格 (学会専門医等)、経験年数、当該技術の経験年数及び当該技術の経験症例数の観点を含む。例えば、「経験年数○年以上の△科医師が□名以上」。なお、医師には歯科医師も含まれる。